



町民
目線

まちづくりへの
意見

二月二十八日、めぐみ保育園で行われた、町づくりグループミーティングでは、園児の保護者や関係者など十二名が集まり、吉田町長とまちづくりに対して活発な意見交換を行いました。

学校給食はどうなるの？

自由な意見交換のため、話題は多種多様。その一部をご紹介します。

参加者…給食センターを建てることに、保護者の方々は喜んでいますが、しかし、年々子どもの数が少なくなってきたという状況で、本当に必要なのか、そして町の財政が苦しくなり、子どもたちに負の遺産を残すのではなにかと疑問を持っています。

町長…少子化、就職難、地域が疲弊している中で、給食というのは非常に取り組みにくいと思いましたが、しかし、普通のサービスとして提供していきたいと考えています。財政状況は、合併振興基金、財政調整基金を積み立てている途中。これから需要がある事業を見越して財源を貯めているので、給食を実施することによって財政が圧迫されるという状況は回避したいと

思っています。

また、地元食材を活かしながら、町としても真剣に保育に取り組んでいかなければならないので、何としても給食事業を実施したいと考えています。

話し合いだけで終わらせないで

「息子たちはこの地域が大好きですが、やはり生活していくには働く場所がない。だから若者はどんどん外に出る。そうすると子どもは産まれないという悲しい状況になるような気がします。希望するような職業、働き場がなければ町外に出て行かなければなりません。ぜひ話し合いだけでなく、町の企画を現実させて、働く場所を作ってほしいです」。

子育て日本一を目指せば良い

「次世代育成後期計画を見ると、深浦町の合計特殊出生率は〇・九九と驚きの数字です。出産をためらう将来の不安を取り除くためには、安定して働ける場所が是非必要。だけど、すぐにはできない」。

様々な保育サービスをしています。安心して子育てができる経済的支援が必要だと思ふ。本当に安心して産み育てられるというのを保育の支援ではなく、所得補償のような形で何とかできないか。

子育て日本一の町を町長には期待したい」。

参加募集

町づくりグループミーティングでの意見交換は、今後の町づくりに活かされます。

仲間同士が参加して、町長と一緒に町づくりについて意見交換しませんか？話題は何でも結構です。深浦をもっと暮らしやすい町にするために、あなたの意見を聞かせてください。

【問合せ・申込み先】

深浦町企画財政課
町づくり戦略室
電話番号…七四一二二一一

(内二六四)

